

ふれあい

第56号(平成26年3月25日)
阿品台コミュニティ 事務局(TEL39-4338)
阿品台地区人口・世帯数(平成26年2月1日現在)
人口8,573人(52人減) 男4,007人 女4,566人
世帯数3,489世帯(11世帯減)・高齢化率26.6%(1.1%増)
(参考:市平均25.5%(0.4%増))
()内の数値は平成25年10月20日との比較

突然の災害に備えましょう!

●●阿品台自主防災組織の役割●●

阿品台地区自主防災組織 会長 関口 禮伸

★自主防災組織活動が地域の減災に不可欠

昨年11月24日(日)第1回阿品台地区自主防災訓練が阿品台公園で320数名の住民皆様方のご参加を頂き、訓練の初期の目的が果たせたことは、地域防災に携わる役員・関係者にとってほっとしたことでありましょう!市民の防災意識が問われる中、当団地にも防災意識の高まりが芽生え始め自助、共助の重要性に少なからずご理解頂いたものと察します。云うまでもなく、自主防災組織の目的は、地震、津波、風水害、その他の災害に対し、地域の組織力により被害を減災していくことであります。幸いにも阿品台団地は26町内会が、阿品台コミュニティ配下の町連部として支えて頂いており、今後スキルアップした訓練活動をしていく為にも、町内会単位の自主防災体制の取り組みが重要視されて来ると考えます。



そこで、阿品台地区自主防災組織の長としては是非とも皆様方に下記3点のお願いをしたいと思います。

1. 家庭内の自主防災対策を強化して頂きたい
2. 町内会単位毎で自主防災組織(危機管理組織)づくりを薦め、共助としての働きが出来る体制確立を図って頂きたい
3. 阿品台地区自主防災組織の諸活動に積極的にアプローチ願いたい

災害は何時やって来るかわかりません、日常より災害に対する意識を高め、先取り防備することにより、必ず減災の効果がうまれるでしょう!阿品台は高台で津波の心配はありませんが。阪神・淡路大震災の犠牲者の8割が、建物の倒壊や家具による圧死に会ったと報告されております。この事から私たち一人一人が防災意識を高めていくことで、家庭内防災意識が高まり「自分の命は自分で守る」という基本理念が根付いてゆくものと考えます。

阿品台地区自主防災組織はスタートしたばかりです、これから住民の皆さんと共に、安心して安全な住まい、よい街づくりに寄与していく覚悟でおります、何卒皆様方の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

★ 阿品台防災組織の内容

組織図に示す役務の具体的業務内容

1. 企画運営部

企画運営部内には大きく分けて、普及情報チーム、事務局チーム、実務訓練チームに編成され、下記事項の立案と実践訓練を行う

- ①組織の情報収集、普及、啓発、運営を行う。
- ②活動計画、機材整備などの企画立案を行う。
- ③防災機構との連絡調整等の業務を兼務する。

2. 普及情報班

- ①近隣地域に異変が起こった場合には、その状況を副会長に伝達する。
- ②被災状況を把握し、副会長に伝達する。
- ③災害対策本部からの指示を住民に連絡する。

3. 活動訓練班

- ①平常時は防災訓練等実戦部隊として指揮を執る
- ②非常時は対策本部の指示に従い、災害現場で下記班を取纏める。

4. 応急作業班

- ①災害発生前の応急処置などを行う。
- ②災害発生後には安全確保の上応急処置を行う。
- ③ゴミ処理対策、がれき等廃棄物処理の検討

5. 避難誘導班

- ①会長の避難誘導の指示に基づき標旗を立て住民を町内の一次避難場所または、阿品台地区の廿日市市指定の避難場所に誘導する。
- ②避難経路の安全点検
- ③避難訓練の実施

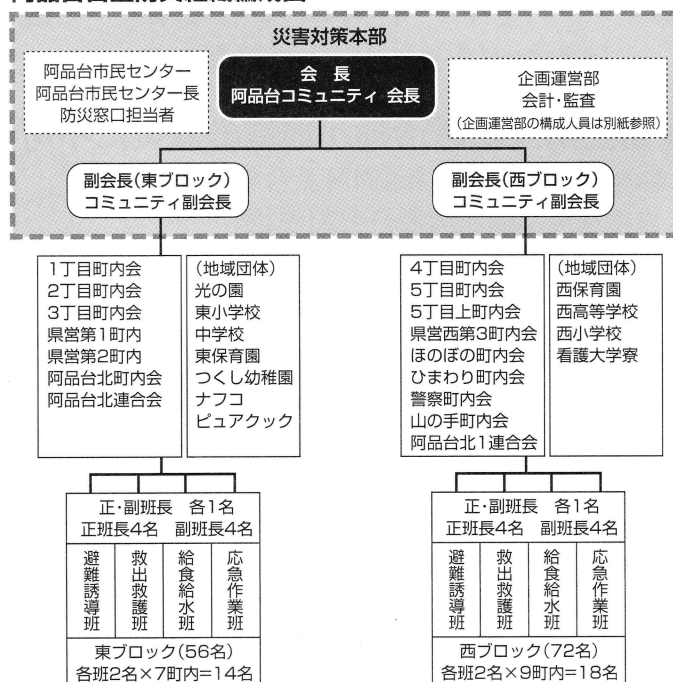
6. 救出救護班

- ①建物の浸水、倒壊、落下物等により救出救護を要する者が生じた時は、住民の協力を得て、救出活動を行う。
- ②救出用資材の調達と整備、救助技術の習得、救出救助訓練の実施

7. 給食給水班

- ①市から配分された食料、地域内の家庭等から提供を受けた食料等の配分や炊き出し等により給食活動を行う。
- ②生活必需品等の救援物資を受領し分配する。

阿品台自主防災組織編成図



★ 防災訓練の内容

2013年11月24日(日) 8時30分

阿品台地区8か所の防災無線の一斉放送で避難指示、一次避難場所に指定された町内会の集会所に9:00に集合し、二次避難場所の阿品公園野球グラウンドに集合しました。

阿品公園野球グラウンドにすべての町内会から避難した参加者(326名)が集合した後、各種の体験訓練が実施されました。普通、バケツリレーと云えば一列に並んでバケツを渡して行きますが、参加人数が多い今回の様な場合は、2列になって片方が水の入ったバケツをリレーし、もう片方が空になったバケツをリレーして元に戻す訓練をしました。



平成11年4月より阿品台地域安全協議会が防災訓練も同時に行って参りました。参加者は80～100名でしたが、今回よりコミュニティで取り組む事になり参加者も増えました。

地域の皆様方の防災意識がより高まる事を望みます。

阿品台地域安全協議会 代表 竹元 忠国

次は煙で満たされたテントの様な部屋を通りくぐる訓練です。煙で満たされた室内は視界が効かず、息もし難いので必死に潜り抜けていました。ここで、使われた煙は無害のものでしたが、実際は一酸化炭素などが含まれた煙なのでより困難なものになりそうな感じがしました。

次は、消火器を使った消火訓練です。火事を発見した参加者は先ず、「火事だ!火事だ!火事だ!」と大声で



叫びながら消火器

の安全ピンを抜き、火元に向かってハンドルを引きます。消火器から飛び出した水が火事の火に見立てた的に当たり簡単に消えました。実際の火事でもこの経験が活かされれば良いですね。

この他、怪我の応急手当て、人工呼吸やAEDによる蘇生体験、毛布1枚と竿2本での担架作りやロープの結び方体験などが実施されました。

最期に消防団による放水で締めくくりました。



平成25年度 コミュニティの後期事業

体育部

第29回 ソフトボール大会

◇日 時:平成25年10月27日(日)
◇場 所:阿品台東小学校グラウンド
◇参加チーム:(9チーム)

- ・県 営
- ・混 成
- ・山 九
- ・廿日市西高等学校教員
- ・タウンA
- ・五丁目
- ・廿日市西高等学校女子
- ・廿日市西高等学校男子
- ・5丁目上

◇順 位:

- 優 勝 混成チーム
- 準優勝 五丁目チーム
- 3 位 タウンA
- 廿日市西高等学校男子
- 5丁目上

今年は廿日市西高等学校教員チームが初めて参加されました。男性ばかりのチームの中で、やはり可愛いらしさを廿日市西高等学校女子チームはNO.1!!



体育部

第28回 グラウンドゴルフ大会

10月14日、いつもの阿品台東小学校のグラウンドに元気なシニア約80人が参加、A、B2組に分かれて熱戦が繰り広げられました。

優勝者は阿品台一丁目の高森幸夫さんです。おめでとうございます。



地安部

通学路清掃活動 ○日 時:平成26年2月15日(土) 8:30~10:10

今年から阿品台コミュニティと阿品地区コミュニティをすすめる会が主催して、通学路清掃活動が実施されました。小中学校、廿日市西高、日赤看護大学の学生、それに先生、父兄、ボランティアの人々16班総勢479名で通学路周辺及びカーブミラーの清掃を実施しました。



文化部・女性部

「日帰り研修旅行」～出雲大社&日御碕灯台～

○日 時:10月8日(火) 8:00~18:00

○参加者:88名

60年ぶりの大遷宮で賑わう出雲大社へ

出雲大社の歴史、今回の修造、奉祝行事、神々が集う「神在月」等ボランティアガイドさんによる丁寧な説明を聞き、はるか太古のロマンにしたった。



「ワインコンサート」

～Xmas Jazz Night～

○日 時:11月30日(土) 18:30~20:50

○参加者:56名

グラスワインと軽食をいただきながら、生演奏と歌に時を忘れ聴き入っていた。



「しめ縄作り」

○日 時:12月24日(火) 13:00~15:30

○参加者:20名

午年が良い年となりますようにと、縄を編みました。

講 師:

折本 善政さん



～体験学習～「ジャム作りとたけはら町並み保存地区散策」

○日 時:2月27日(木) 8:30~18:00

○参加者:36名

忠海のアヲハタでジャム作りを体験、町並み保存地区ではお雛祭りが開催されていた。



文化部

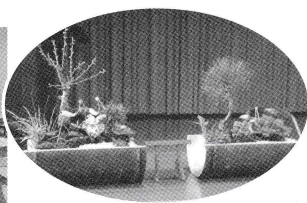
～家庭にやすらぎを～ [市民センター共催]

「松竹梅の寄せ植え講座」

○日 時:12月14日(土) 10:00~12:00

○参加者:25名

講 師:橋本園芸さん



女性部

～世界の料理シリーズ～ [市民センター共催]

「ベトナム料理を味わってみよう」

○日 時:2月17日(月) 10:00~13:00

○参加者:20名

今年、友好40周年にあたるベトナムの料理を紹介。

ベトナム風お好み焼き、バナナゼンザイ、生春巻き、野菜サラダ、を作り違う文化を味わった。

講 師:平岡ズウェンさん

